

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 ロブテックス
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,907	3.7	150	34.1	124	39.4	67	43.9
2019年3月期第2四半期	3,018	0.6	227	20.6	204	20.9	120	27.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 24百万円 (86.7%) 2019年3月期第2四半期 187百万円 (17.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	72.20	
2019年3月期第2四半期	128.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,045	4,151	49.3
2019年3月期	8,109	4,206	49.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,963百万円 2019年3月期 4,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		70.00	70.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,130	0.5	280	36.3	230	42.1	140	42.9	149.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,000,000 株	2019年3月期	1,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	66,075 株	2019年3月期	66,075 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	933,925 株	2019年3月期2Q	933,946 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などにより設備投資や個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調が継続しておりますものの、引き続き労働力不足や米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題、日韓関係の悪化などの懸念材料もあり、景気の先行きについては減速懸念を強めつつ推移しました。

このような状況の下、当社グループは全社員を一丸とする企業文化“コーポレートカルチャー”を醸成し、創立100周年(2023年度)にあるべき姿を目指すため、経営ビジョンを「モノづくりのプロにゆえモノづくりの愉しさを育む」、経営スローガンを「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」と定め、その浸透と発信を図り、経営目標達成に向けて努力してまいりました。また、2019年4月にコーポレートカルチャーの醸成促進とより機能的な組織体制とすべく、組織改革を実施し、社長室をコーポレートカルチャー醸成に特化させ、営業部に営業企画・推進部門を統合させるとともに、取引先別販売チャネル展開を加速すべくeビジネス推進部門を新設しました。また、顧客満足の充実に資するため、カスタマーサービス部門を独立させました。そして、将来を見据え、金属製品事業では生産設備の拡充並びに人的な投資・充実に、レジャー事業ではサービス向上に向けた設備投資を計画的に進めてまいりました。

その結果、概ね当初予想の想定内で推移しておりますものの、売上高は前年同期比3.7%減の29億7百万円(前年同期30億1千8百万円)となり、利益面では減収影響に人件費増も加わり、営業利益で同34.1%減の1億5千万円(同2億2千7百万円)、経常利益で同39.4%減の1億2千4百万円(同2億4百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益で同43.9%減の6千7百万円(同1億2千万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ減少しました。ハンドツール部門ではレンチ類において本締めに至るプロ仕様を謳った新商品「ハイブリッドモンキレンチX W-ZERO」の投入やOEM製品の回復、堅調な万力類の販売による増加がありましたものの、電設工具及びプライヤ類の低調により減少し、ファスニング部門では工業用ファスナーにおいて新規案件の獲得などがありましたが、継続案件の工法変更による注文減を補えず減少しました。切削工具部門については拡販努力を行いましたが、継続的な価格競争影響により減少しました。

海外売上についても前年同期に比べ減少しており、ハンドツール部門では主力販売国である韓国の経済環境や流通在庫増加影響により、レンチ類・プライヤ類が大幅に減少しました。ファスニング部門においても米国における流通在庫増加影響により、エアリーベッター等のファスニングツールが減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比3.7%減の27億9千4百万円(前年同期29億2百万円)となりました。利益面ではセグメント利益が減収や人件費増により、前年同期比44.6%減の1億円(同1億8千1百万円)となりました。

②レジャー事業

ゴルフ練習場における入場者数はサービス向上や集客施策により前年同期に比べ増加しましたものの、お客様一人当たり売上高は高気温などの天候影響と思われる滞在時間の減少により低下し、売上高は前年同期比2.4%減の1億1千3百万円(前年同期1億1千5百万円)となりました。一方、セグメント利益は減収影響がありましたが、前年同期に実施した設備修繕等の費用が無くなり、同7.8%増の4千9百万円(同4千5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は80億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千3百万円減少しました。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末比8千3百万円減の51億2千7百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加がありましたものの、受取手形及び売掛金や電子記録債権が減少したことによるものです。

固定資産は同1千9百万円増の29億1千8百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価評価に伴う減少や減価償却による既存の有形固定資産の減少がありましたが、工場棟新築を中心とした設備計画進捗による新たな有形固定資産の増加によるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比2千万円増の25億1百万円となりました。これは主に未払金やリース債務の減少がありましたものの、買掛金及び短期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は同3千万円減の13億9千3百万円となりました。これは主に社債が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比5千4百万円減の41億5千1百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ1億9千4百万円減少(前年同期8千6百万円増加)し、18億2千9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

未払金の減少や法人税等の支払がありました。税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上や売上債権の減少などにより、資金が3億9千8百万円増加(前年同期1億9千9百万円増加)しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の預け入れ期間の変更と有形固定資産の取得を主因に、資金が4億2千6百万円減少(前年同期2千6百万円減少)しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

借入金収入がありましたが、リース債務の返済や配当金支払などにより資金が1億6千5百万円減少(前年同期8千4百万円減少)しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、2019年5月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,073,590	2,155,868
受取手形及び売掛金	1,342,612	1,265,686
電子記録債権	189,004	132,284
商品及び製品	1,028,149	991,176
仕掛品	299,305	303,931
原材料及び貯蔵品	214,101	226,069
その他	70,329	57,401
貸倒引当金	△5,646	△4,762
流動資産合計	5,211,447	5,127,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	743,424	969,217
土地	738,508	738,508
その他(純額)	646,970	495,518
有形固定資産合計	2,128,903	2,203,244
無形固定資産	36,572	40,560
投資その他の資産	732,726	674,381
固定資産合計	2,898,202	2,918,186
資産合計	8,109,650	8,045,842

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	229,553	278,946
短期借入金	1,599,188	1,624,921
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	38,390	48,317
その他	553,168	488,991
流動負債合計	2,480,299	2,501,177
固定負債		
社債	150,000	120,000
長期借入金	1,005,686	1,000,478
退職給付に係る負債	65,047	66,076
その他	202,584	206,605
固定負債合計	1,423,318	1,393,159
負債合計	3,903,618	3,894,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	2,504,848	2,506,899
自己株式	△164,014	△164,014
株主資本合計	3,791,879	3,793,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,313	170,019
その他の包括利益累計額合計	222,313	170,019
非支配株主持分	191,838	187,555
純資産合計	4,206,031	4,151,505
負債純資産合計	8,109,650	8,045,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,018,852	2,907,952
売上原価	1,925,587	1,868,412
売上総利益	1,093,265	1,039,540
販売費及び一般管理費	865,598	889,424
営業利益	227,666	150,116
営業外収益		
受取配当金	7,670	8,549
受取家賃	4,724	4,746
為替差益	4,239	-
その他	2,745	4,021
営業外収益合計	19,379	17,317
営業外費用		
支払利息	17,407	16,100
売上割引	23,784	23,194
その他	932	3,869
営業外費用合計	42,125	43,164
経常利益	204,920	124,269
税金等調整前四半期純利益	204,920	124,269
法人税等	75,104	46,358
四半期純利益	129,815	77,910
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,642	10,484
親会社株主に帰属する四半期純利益	120,173	67,426

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	129,815	77,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,494	△53,061
その他の包括利益合計	57,494	△53,061
四半期包括利益	187,309	24,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,079	15,131
非支配株主に係る四半期包括利益	9,230	9,716

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	204,920	124,269
減価償却費	101,289	108,092
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△416	△948
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	427	1,028
受取利息及び受取配当金	△7,706	△8,583
支払利息	17,407	16,100
為替差損益 (△は益)	2,035	284
売上債権の増減額 (△は増加)	172,443	133,645
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△77,851	20,379
仕入債務の増減額 (△は減少)	△25,467	49,393
その他の資産の増減額 (△は増加)	△33,443	41,390
その他の負債の増減額 (△は減少)	△16,154	△46,655
小計	337,484	438,396
利息及び配当金の受取額	7,706	8,587
利息の支払額	△18,549	△17,243
法人税等の支払額	△127,399	△32,830
法人税等の還付額	-	1,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	199,242	398,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△276,600	△276,600
定期預金の払戻による収入	276,600	-
有形固定資産の取得による支出	△23,331	△146,540
投資有価証券の取得による支出	△3,678	△3,967
その他	437	361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,573	△426,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	136,866	43,334
長期借入れによる収入	220,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△262,640	△272,809
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
リース債務の返済による支出	△59,676	△76,945
自己株式の取得による支出	△2	-
配当金の支払額	△74,715	△65,374
非支配株主への配当金の支払額	△14,000	△14,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,168	△165,795
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,035	△284
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	86,464	△194,322
現金及び現金同等物の期首残高	1,880,185	2,023,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,966,650	1,829,268

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,902,893	115,959	3,018,852	—	3,018,852	3,018,852
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,902,893	115,959	3,018,852	—	3,018,852	3,018,852
セグメント利益	181,728	45,938	227,666	—	227,666	227,666

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,794,795	113,157	2,907,952	—	2,907,952	2,907,952
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,794,795	113,157	2,907,952	—	2,907,952	2,907,952
セグメント利益	100,599	49,517	150,116	—	150,116	150,116

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。